

**SOPHOS**

Security made simple.

# エンドポイントにおける Web コントロール 概要ガイド

Sophos Web Appliance  
Sophos UTM (バージョン 9.2 以降)  
Sophos Enterprise Console  
Sophos Endpoint Security and Control



# 目次

1 エンドポイントにおける Web コントロール.....	3
2 Enterprise Console のみ.....	4
3 Enterprise Console と Web Appliance.....	5
3.1 Enterprise Console と Web Appliance (LiveConnect を使用しない場合).....	5
3.2 Enterprise Console と Web Appliance (LiveConnect を使用する場合).....	6
4 Enterprise Console と UTM.....	7
5 エンドポイントの Web アクセスを制御するメリット.....	8
6 利用条件.....	9

# 1 エンドポイントにおける Web コントロール

Sophos UTM や Sophos Web アプライアンス (国内未販売) では、ネットワークのゲートウェイにおいて URL やファイルの種類のフィルタリングを実行できます。Sophos Enterprise Console では、これと同じ機能の一部を Sophos Endpoint Security and Control 経由でエンドポイントに展開でき、基本的な 14 種類のカテゴリにもとづいてユーザーのマシンでフィルタリングが実行されます。

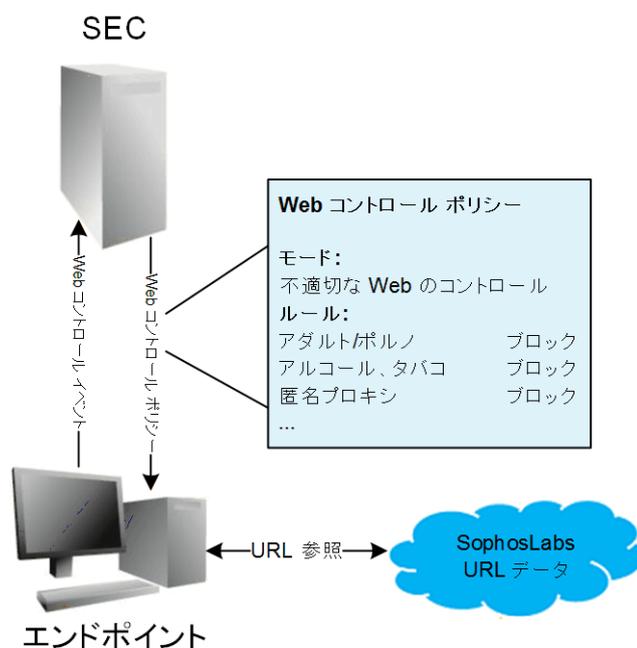
このようなソフォスのアプライアンス製品と Sophos Enterprise Console を連携させることで両方の製品の機能が活用でき、連携の設定が完了した後は、Endpoint Security and Control を通じて各ユーザーのマシンに高度な Web コントロールポリシー (50 を超える Web サイトカテゴリがあります) を適用できるようになります。

エンドポイントはその後、ポリシーのアップデート版を取得し、Web アクティビティのレポートをアプライアンスに送信する一方、Web のイベントを Enterprise Console に送信します。

エンドポイントの Web アクセス制御を Enterprise Console で有効にするには、次の 3 つの方法があります。

- Enterprise Console のみ
- Enterprise Console と Web Appliance
- Enterprise Console と UTM

## 2 Enterprise Console のみ



Web Appliance や Management Appliance (どちらも国内未販売) を使用しない場合でも、Enterprise Console にある基本的な Web フィルタリング機能を使用することができます。Enterprise Console だけで Web コントロール ポリシーを有効に設定した場合、Sophos Endpoint Security and Control 経由で、14種類の Web サイトカテゴリごとのルールが各ユーザーに適用されます。適用されるのは、Enterprise Console の「不適切な Web サイトコントロール」ポリシーです。ユーザーの Web アクティビティのデータは Enterprise Console に返され、結果は「Web のイベント」として表示されます。

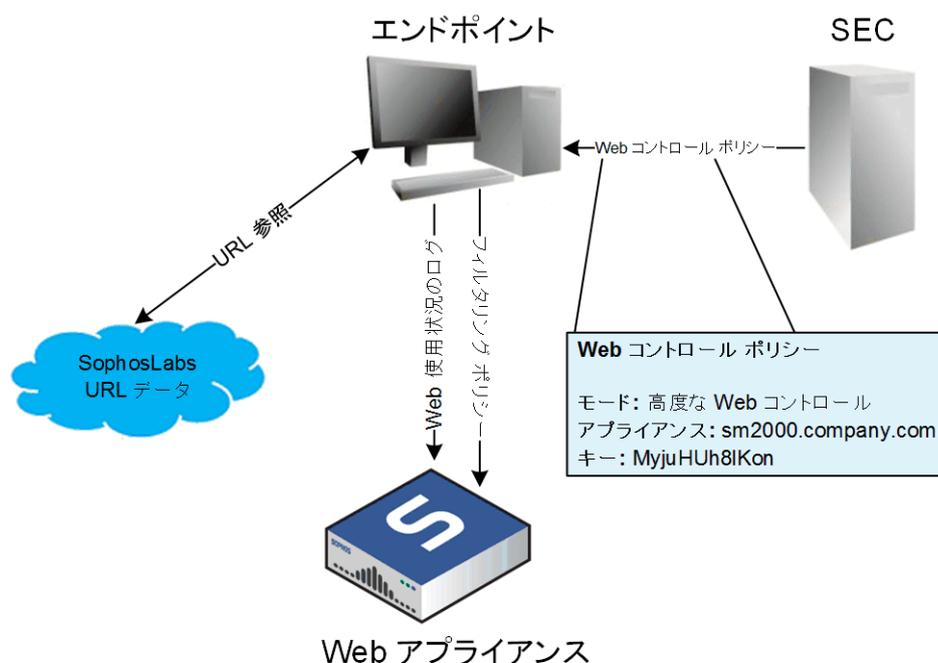
ライブ URL フィルタリング機能は、SXL クエリを SophosLabs に送信し、最新の脅威情報を取得することで、リアルタイムに URL をチェックします。SXL は、アクセス先をリアルタイムで SophosLabs に照会するテクノロジーです。

## 3 Enterprise Console と Web Appliance

Sophos Web Appliance または Sophos Management Appliance (どちらも国内未販売) を使用して高度な Web コントロールポリシーを適用すると、Enterprise Console からアプライアンスのホスト名が提供され、直接または Sophos LiveConnect 経由でエンドポイントとアプライアンスが通信できるようになります。

LiveConnectにより、ローカルネットワーク上のエンドポイント、支社・支店、外出の多いユーザーのエンドポイントなど常にすべてのエンドポイントを管理できます。

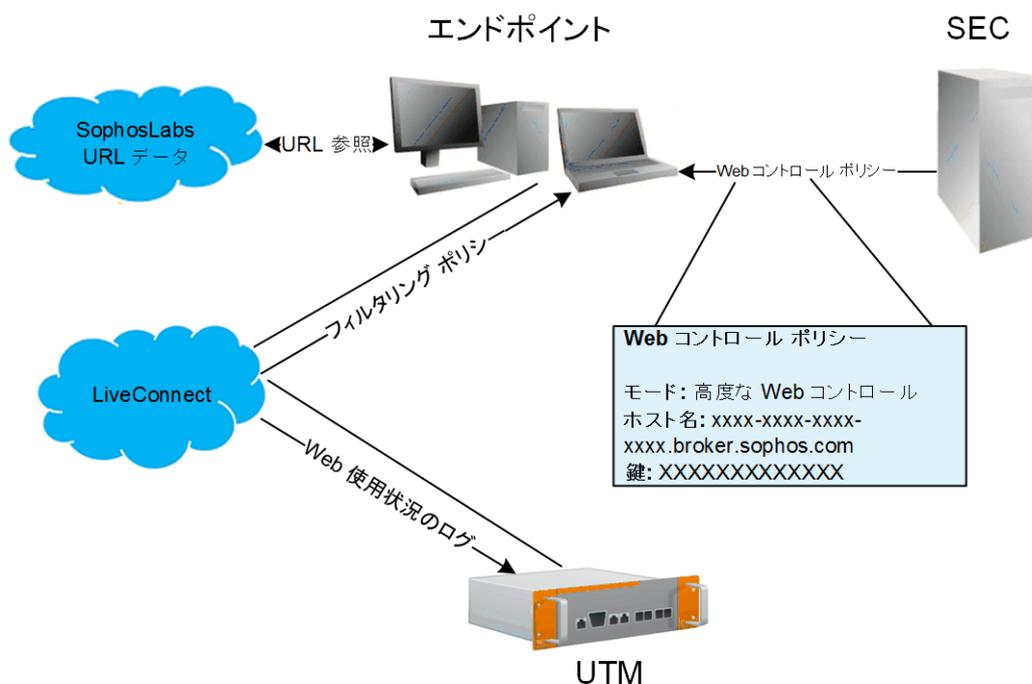
### 3.1 Enterprise Console と Web Appliance (LiveConnect を使用しない場合)



Sophos LiveConnect を有効にせず、Sophos Web Appliance または Sophos Management Appliance (どちらも国内未販売) を使用して「高度な Web コントロール」ポリシーを適用すると、ユーザーのエンドポイント用ソフトウェアが該当するアプライアンスに接続し、詳細な Web フィルタリングポリシーを取得します。ユーザーの Web アクティビティのデータは該当するアプライアンスに返され、Web のイベントのデータ (ライブ URL フィルタリング機能でスキャン・評価した Web サイトの一覧) は Enterprise Console に送信されます。



## 4 Enterprise Console と UTM



UTM では、エンドポイントコンピュータの監視と保護にクラウドベースの集中管理サービス、Sophos LiveConnect が使用されます。社内からネットワークに接続していない場合でも、ポリシーの更新内容がユーザーに適用され、エンドポイントコンピュータからレポートデータがアップロードされます。

Sophos UTM アプライアンスを使用して高度な Web コントロールポリシーを適用すると、Enterprise Console から UTM で使用されている Sophos LiveConnect のブローカーのホスト名が提供され、エンドポイントが Sophos LiveConnect と通信できるようになります。ユーザーのエンドポイント用ソフトウェアは、そのホストに接続し、詳細な Web フィルタリングポリシーを取得します。ユーザーの Web アクティビティのデータは LiveConnect 経由でアプライアンスに返され、Web のイベントのデータ (ライブ URL フィルタリング機能でスキャン・評価した Web サイトの一覧) は Enterprise Console に送信されます。

## 5 エンドポイントの Web アクセスを制御するメリット

Sophos Web Appliance (国内未販売) または UTM アプライアンスは、社内ネットワークから Web サイトを閲覧するシステムにセキュリティ対策を施し、生産性の低下を防止します。同時に、この保護機能をエンドポイントコンピュータに拡張して、ユーザーによる Web へのアクセスを制御することもできます。これにより、社内ネットワーク外のコンピュータや、移動先で使用するエンドポイントコンピュータに保護、制御、およびレポート機能が提供されます。

Enterprise Console では、一般的なサイトカテゴリを通じて、マルウェア感染や生産性の低下を防止する Web コントロールポリシーをエンドポイントコンピュータに適用できます。Sophos Enterprise Console を Sophos Web Appliance または UTM アプライアンスと連携させると、高度な Web ポリシーをエンドポイントコンピュータに適用できるようになります。50 を超えるサイトカテゴリごとに基づいて、きめ細かくポリシーを設定したり、脅威や使用状況に関する詳細なレポートを作成することができます。

Sophos LiveConnect を使用すると、インターネットに接続できる環境であれば場所にかかわらず (VPN 接続や特別なネットワーク構成なしで)、移動先のモバイル PC から高度な Web ポリシーのアップデート版を取得したり、サイト閲覧状況のログをアプライアンスに送信できるようになります。

## 6 利用条件

Copyright © 2011-2017 Sophos Limited. All rights reserved. この出版物の一部または全部を、電子的、機械的な方法、写真複写、録音、その他いかなる形や方法においても、使用許諾契約の条項に準じてドキュメントを複製することを許可されている、もしくは著作権所有者からの事前の書面による許可がある場合以外、無断に複製、復元できるシステムに保存、または送信することを禁じます。

Sophos、Sophos Anti-Virus および SafeGuard は、Sophos Limited、Sophos Group および Utimaco Safeware AG の登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。